広報 滋賀県身協

平成27年1月1日

107

12月3日~9日は障害者週間です

新年のご挨拶…… 2
第64回滋賀県身体障害者福祉大会・要望活動 …… 3～4
第34回日本身体障害者団体連合会近畿ブロック福祉大会
わが地域の「がんばり日記」等…… 5
組織活性化の取り組み…… 6
各種お知らせ等…… 7
障害者福祉センターコーナー…… 8～11
クイズコーナー・編集後記　他 ……12

滋賀県立障害者福祉センターのご案内

ご利用時間　午前9時30分～正午・午後1時～ 4時30分・午後5時30分～ 8時30分
休　所　日　月曜日（休日を除く）・「休日」の翌日（土曜日・日曜日または「休日」である場合を除く）・12月29日～翌年1月3日・管理者の指定日時
電話 077-564-7327　　FAX 077-564-7641
E-mail:webmaster@shiga-fukushi-center.com
http://www.shiga-fukushi-center.com/

第64回 滋賀県身体障害者福祉大会～　平成26年10月25日（土）　草津市立総合体育館にて

新年あけましておめでとうございます
本年もどうぞよろしくお願い申し上げます

新年のごあいさつ

公益財団法人　滋賀県身体障害者福祉協会
会　長　　中　村　　裕　次

新年を迎え、身体障害者福祉協会に多大なご理解とご協力をいただいております関係者の皆様方に、心より新春のお慶びを申し上げます。また、私がこの重要な職責を務めさせていただくことができますのも、会員の皆様方をはじめ、多くの関係各位の温かいご支援の賜物と深く感謝しております。

さて、国においては、障害者基本法の改正（2011年 7月）、障害者総合支援法の成立（2012年 6月）、障害者差別解消法の成立および障害者雇用促進法の改正（2013年6月）など、障害者制度改革の一連の法整備が行われ、昨年1月に「障害者の権利に関する条約」が批准されました。この条約を締結したことにより、社会に浸透が図られ、あらゆる施策に反映されることが重要となっています。

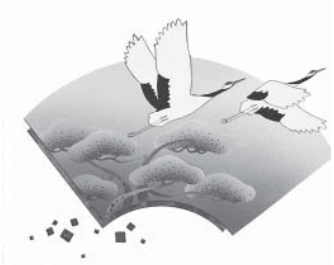
また、県においては、「みんなでいっしょに働き、みんなとまちで生きる」を基本理念とした「新・障害者福祉しがプラン」に基づき、共生社会の実現に向けて取り組みが進められていますが、障害者を取り巻く環境はまだまだ厳しく、地域で暮らし、働き、活動するため、より一層取り組みの充実が求められているところです。

当協会は、公益財団法人として、これまで以上に不特定多数の障害者の方々への利益の増進に寄与するため、当事者の意見を施策や制度に反映できるよう力を合わせて取り組みを進めていくとともに、各地域における活動の活性化に向けた取り組みを支援していく所存です。障害の有無によって分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重しあいながら共生社会の実現に向けて、役職員はもとより地域の障害者の皆様とともに、これら諸問題の解決・達成に向けて積極的に取り組んでまいりたいと存じますので、皆様方の一層のご支援、ご協力を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

最後になりましたが、新しい年が幸多い年でありますとともに、皆様のますますのご健勝とご活躍を心よりお祈りいたしまして、私の新年のごあいさつといたします。

年頭のごあいさつ

滋 賀 県 知 事　　三 日 月　大 造



あけましておめでとうございます。

皆様には、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、冬季オリンピック・パラリンピックやサッカーワールドカップが開催され、選手たちの活躍に日本中が感動に包まれた一方で、広島の土砂災害や9月の御嶽山の噴火など、人知を超えた自然の力の大きさを改めて感じた年でもありました。

さて、滋賀県では現在、新たな基本構想や次期障害者プランの策定を進めています。

新たな基本構想では、「夢や希望に満ちた豊かさ実感・滋賀」を基本理念に、「新しい豊かさ」の追求をうたっています。「自分」の豊かさ、「今」の豊かさ、「もの」の豊かさに加えて、「みんなが将来も持続的に実感できる『心』の豊かさ」を実現するために今なすべきことを、県民ひとり一人が考え、行動することで、夢や希望を抱き、幸せや豊かさを実感できる滋賀の実現を目指します。

また、次期障害者プランでは、「みんなでいっしょに働き、みんなとまちで生きる」を基本理念に、障害のある人もない人もお互いに尊重し、理解し、助け合う中で、すべての人がその有する力を最大限に発揮することで、生き生きと活躍し、居場所と出番を実感できる共生社会の実現を目指します。

本県には、福祉の分野で国に先駆けた政策を展開し、全国をリードしてきた歴史があります。「新しい豊かさ」を実感できるようにするために、改めて滋賀から「新しい福祉」を創り出していきたいと考えております。

本年も県民の皆さんの願いや思いを大切に、一人ひとりがそれぞれの「豊かさ」を実感できる滋賀県をめざし、精一杯取り組んでまいりたいと考えておりますので、一層のご理解、お力添えをお願い申し上げます。

結びに、本年が皆様にとって、伸びゆく、幸多い年となりますことを心からお祈り申し上げます。

第64回 滋賀県身体障害者 福祉大会

10月25日(土)に草津市立総合体育館において、副知事・国会議員をはじめ多数のご来賓の出席をいただき、県内各地から約750人もの多くの方々の参加のもと、「第64回滋賀県身体障害者福祉大会」を盛大に開催することができました。

式典においては、滋賀県知事表彰を7人の方が、滋賀県身体障害者福祉協会会長表彰を19人の方が受賞され、野洲市の那須晃氏が代表として謝辞を述べられました。また、議事は、大会宣言と大会決議が満場一致で採決されました。

来年度「第65回滋賀県身体障害者福祉大会」は、甲賀市において、甲賀・湖南の2地域共催で開催されます。多くの皆様のご参加をお待ちしています。

講　演

～草津市身体障害者更生会設立60周年記念協賛～「人は、その人であるだけで大切な存在」

ベストセラー「オール1の落ちこぼれ、教師になる」の著者であり、エッセイスト・元高校教師の宮本延春(みやもとまさはる)氏を招き、「人は、その人であるだけで大切な存在」と題して講演をしていただきました。

いじめが原因で学校嫌い、勉強嫌いとなった小学生時代から、「オール1」の通知表をもらい落ちこぼれた中学生時代、その後の極貧生活など、どん底の厳しい環境の中でも負けず、夜間定時制高校、名古屋大学、大学院を経て母校の高校教師となった経験談をもとに、「自己肯定感」、「前を向いて生きる喜び」、「共に生きるこころ」が大切な力であるという心に残るお話をしていただきました。

平成26年度 滋賀県知事表彰・被表彰者

更生援護功労者

市町名	氏名	市町名	氏名
大津市	外池茂造	長浜市	浅田又右衛門
大津市	清水享	野洲市	那須晃
彦根市	中村金蔵		

自立更生者

市町名	氏名	市町名	氏名
大津市	河面愛子	彦根市	津野真由美

平成26年度 公益財団法人滋賀県身体障害者福祉協会 会長表彰・被表彰者

更生援護功労者

市町名	氏名	市町名	氏名
大津市	千代章浩	守山市	津田善之助
大津市	串橋伸章	野洲市	道田弘子
彦根市	岸田美智子	甲賀市	寺澤しげ子
彦根市	馬場耕造	甲賀市	藤丸益
長浜市	尾本清子	東近江市	古澤政和
近江八幡市	安倍正雄	米原市	川口幸雄
草津市	福谷義嗣	愛知郡・犬上郡	中村久雄

自立更生者

市町名	氏名	市町名	氏名
大津市	住澤てい子	甲賀市	倉谷義数
彦根市	上林彰	甲賀市	山本嘉代
彦根市	小林玲子		

第64回滋賀県身体障害者福祉大会　大会スローガン

●全市町において、要援護者の個別支援計画が早期に完成され、避難支援対策が整備されるよう働きかけよう
●ユニバーサルデザインのまちづくりを目指し、関係機関等と連携を図られ着実に取り組まれるよう働きかけよう
●法定雇用率の達成と就労支援の充実により、障害者が安心して働ける環境が確保されるよう働きかけよう
●各市町で障害者団体が協力して、だれもが地域で安心して暮らせる社会をめざし働きかけよう

第64回 滋賀県身体障害者福祉大会宣言

国においては、一連の障害者制度改革の法整備により、本年1月に障害者権利条約が批准され、現在、平成28年4月の障害者差別解消法施行にむけて規程等の整備が進められている。また、県においては、「共生社会の実現」に向け、サービス提供体制の整備等取り組みが進められるとともに、「新・障害者福祉しがプラン」が最終年度を迎えることから、次期障害者福祉しがプランの策定に向けた検討が進められている。

このような時に、県内から多くの障害者の参加のもと「第64回滋賀県身体障害者福祉大会」を開催し、障害当事者の思いと願いを結集しアピールすることは大変意義深く、この大会を一つの契機として、障害者が一致団結し、「だれもが地域で安心して暮らせるまちづくり」をめざし、法制度や施策の充実を提言するなど重要な活動を推進しなければならない。

本大会に参加した私達は、障害者の自立と社会参加を一層推進するため、障害の有無によって分け隔てられることなく、人格と個性を互いに尊重しあい共に生きる社会の実現のため、実践に努めていくことを誓い、ここに宣言する。

平成26年10月25日

公益財団法人　滋賀県身体障害者福祉協会
第64回　滋賀県身体障害者福祉大会

第64回 滋賀県身体障害者福祉大会決議

1. 「新・障害者福祉しがプラン」については、障害者にとって必要なサービスがいつでも、どこでも利用できるよう、各福祉圏域間で格差の生じないよう提供体制の整備の充実を要望する。また、次期障害者福祉しがプランの策定にあたっては、障害者差別解消法の制定を踏まえ、施策の充実を図られるよう要望する。
2. 災害対策基本法に基づき、全市町で、障害者団体も含めた避難支援等関係者との連携により、要援護者の個別支援計画が早急に完成されるとともに、日頃から障害者相談員を含めた避難支援関係者への要援護者名簿等の情報提供により、実効性のある避難支援が行われるよう要望する。また、国の指針に基づきバリアフリー化等対応した福祉避難所の設置が図られるよう要望する。
3. 難病の患者に対する医療等に関する法律の施行に当たり、現行制度からの移行後も医療費の自己負担が増えることがないように措置されるよう要望する。
4. ユニバーサルデザインのまちづくり実現のため、「だれもが住みたくなる福祉滋賀のまちづくり条例」や「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律」の基本方針をふまえた目標に基づき、関連する制度や関係機関等との整合・連携を図られ、公共交通機関、道路、公共施設において着実な取り組みが推進されるよう要望する。
5. 障害者が地域で暮らすために、聴覚障害者や視覚障害者等に対する情報の取得、利用を容易にし、意思疎通の保障が図られるよう、社会環境整備の推進を要望する。
6. 障害者の法定雇用率が達成されるとともに、雇用と福祉の施策の連携による一般就労への移行促進や職業訓練の充実により、就職率の向上を図られたい。また、障害者が差別なく継続的に安心して働くことができる環境についてより一層整備されるよう要望する。
7. 「障害者差別解消法」の施行に向けて、社会的障壁を取り除くために必要かつ合理的な配慮が必要となってくる。特に重要となる学校教育の中で、障害に対する理解を深める教育がより一層充実強化されるよう要望する。

平成26年10月25日

公益財団法人　滋賀県身体障害者福祉協会
第64回　滋賀県身体障害者福祉大会

障害者施策に関する要望活動について

報告

当協会は公益財団法人として、共生社会の実現に向けて、不特定多数の障害者の利益向上に寄与するために、障害者の更生福祉の増進と社会参加の促進を図るための様々な事業を障害者団体や地域の方々とともに力を合わせて取り組んでいるところですが、なお厳しさが続く社会経済情勢のもとで障害者の暮らしへの影響は大きく、障害者施策の一層の充実と支援が求められています。

去る10月25日に草津市立総合体育館において「第64回滋賀県身体障害者福祉大会」を開催し、多くの障害者の参加のもと決議された7項目の要望事項について、当協会として10月28日から12月22日にかけて、知事や関係部局、県議会に対して要望活動を行いました。

報告

第34回日本身体障害者団体連合会近畿ブロック福祉大会
第16回日本身体障害者団体連合会近畿ブロック身体障害者相談員研修会

10月21日(火)国際障害者交流センター(ビッグ・アイ)において、第34回日本身体障害者団体連合会近畿ブロック福祉大会および第16回日本身体障害者団体連合会近畿ブロック身体障害者相談員研修会が開催され、本県から35人が参加しました。

午前の福祉大会では、障害者権利条約の規定を反映した高い水準での障害者施策の推進や「障害者差別解消法」で定められている基本方針、対応要領、対応指針の策定には障害者団体の意見を反映させること、JRジパング倶楽部の対象に新幹線「のぞみ」「みずほ」を含める事等10項目の大会決議が採択されました。午後からは厚生労働省相談支援専門官の鈴木智敦氏による「障害保健福祉施策の動向等について～障害者相談支援を中心に～」という演題で講演が行われ、相談支援の充実にむけての強化や計画相談支援の実施状況等について説明していただきました。来年度は神戸市での開催となります。

わが地域の「がんばり日記」

会員研修旅行 ～滋賀県立障害者福祉センター研修と 福井県若狭三方五湖レインボーラインへの思い出～

近江八幡市身体障害者厚生会

9月21日(日)、快晴の空のもと、近江八幡市内各地域から会員さん、手話通訳さん、介助者さん等84人にご参加いただき、バス2台で7時に出発しました。

最初に滋賀県立障害者福祉センターに向かい、研修を受けました。施設の利用活用や自立、地域活性化の必要性を強く感じながらセンターを後にして、藤樹の里安曇川を経由し、湖畔の旅館水月花で昼食をいただきました。そして、いよいよ三方五湖レインボーラインへ。日本海や五湖の移り変わる景色を満喫し、梅丈岳山頂ではケーブルに乗る人、乗らない人、思い思いの時間を過ごし、楽しんでいただきました。

帰りは、7月に開通したばかりの舞鶴若狭自動車道を初通行。昆布館・蒲鉾工場に立ち寄り、楽しかった思い出を胸に、無事帰宅となりました。

「草津市身体障害者更生会の組織のあり方」について答申を受けました！

草津市身体障害者更生会

平成25年度定例総会において議決し設置した「組織検討委員会」で6回にわたっての会議を経て「組織のあり方」について長谷川綱雄委員長から答申を受けました。今後は、この答申を受け、短期的に実施するもの(協賛会員・家族会員)の募集、他団体および他障害者相談員等との交流、災害時要援護者登録制度の啓発、防災訓練等への参加・啓発、市内全世帯へのPR)、中期的に実施するもの(身体障害者関連団体の連携強化、障害種別を超えた連携)とに区別し、できることから取り組んでいく予定です。

今後も会員の協力のもと、力を合わせて頑張っていきたいと思っています。

各地域・団体の活動報告

月　日	主　催	行 事 内 容
9月20日(土)	東近江市身体障害者厚生会	東近江市身体障がい者ふれあいのつどい
11月 8日(土)	栗東市身体障害者更生会 甲賀市身体障害者更生会	地域文化スポーツ交流促進事業 栗東市・甲賀市交流会
11月21日(金)	草津市身体障害者更生会	第6回草津市身体障害者更生会組織検討委員会

組織活性化の取り組み

身体障がい者ふれあいのつどい　東近江市身体障害者厚生会

今回、平成26年度地域等組織活性化事業の一環として「東近江市身体障がい者ふれあいのつどい」を開催しました。この事業は、東近江市で身体障害者手帳を持った全ての人を対象にした事業で、行政の協力が不可欠であり、年度当初より度重なる話し合いの上、ご理解あるご支援をいただき事業を実施することができました。

9月20日(土)当日は、9月だというのに暑くもなく絶好のお天気の中、東近江市総合運動公園布引体育館に170人(内更生会未加入者20人)の参加者を迎えて盛大に開催することができました。

事業の内容は、ミニスポーツを楽しんでいただくということで、カローリング・スカットボール・フライングデスク・エアーライフルを準備し、参加者を4つのグループに分けてローテーションですべての競技を楽しみながら体験していただきました。

お昼には日赤奉仕団の皆さんに、地元で穫れた新米(みずかがみ)を炊き込みご飯に、天ぷらや煮物などを添えて用意していただき、おいしくいただきながら食を通じてのふれあい交流も図ることができました。

初めて参加した皆さんからは、「こんな楽しい会があることを今まで知らなかった」、「参加できて良かった」と喜んでいただき、その日のうちに14人の方に厚生会へ入会していただくことができました。

今回新たな取り組みでしたが、今後こうした事業を継続していくことへの確かな手応えを感じるとともに、東近江市身障厚生会の合言葉である。「であい！ふれあい！わきあいあい！」のうちに意義ある一日を締めくくることができました。

組織活性化事業の実施について

当協会の組織基盤である各市町身体障害者更(厚)生会や協力団体等では、会員の減少と高齢化による組織の弱体化が大きな課題となっています。

そこで、平成23年度から実施している「組織活性化事業」では、各更(厚)生会・団体等において活動の活性化と新規会員の加入促進を図るため、行政等の協力や民生委員との連携など様々な工夫により事業が実施され、新規会員の獲得や団体のPRなど効果は上がっています。

多くの方に更(厚)生会等を知っていただき、多くの仲間と一緒に楽しく活動できる組織づくりのため、会員の皆様には組織活性化事業の実施に向けてご協力いただきますようよろしくお願いいたします。

組織活性化事業実施内容一覧(平成23年度から平成25年度まで)

実施年度	事業名と事業内容	主催者	参加者数	工夫した点とその効果
23	厚生会員と手をつなぐ育成会員の交流研修会 講演「地域支援センターでの取り組みについて」 意見交換会	近江八幡市身体障害者厚生会	36人	**(工夫した点)** 別々で活動している団体が協力できるよう、行政や生活支援センター等に協力を依頼。 **(効果)** 育成会での活動内容を理解し、交流を深められた。今後も継続したい。
	大腸がんセミナー (もっと知ろう大腸がん) 体験談発表 医療講演	(公社)日本オストミー協会滋賀県支部	73人	**(工夫した点)** 健常者にも興味を持てる内容とし、市広報や地方紙、若い方向けにネットを活用し、チラシは約1,000部配布するなど広報に力を入れた。また、協会発行の広報紙を配布するなどし協会のPRに努めた。 **(効果)** 参加者は約7割が会員以外で若い方も多く、県内各地から参加があり協会のPRもできた。
24	彦根市身体障害者更生会 のど自慢大会 障害者のど自慢大会	彦根市身体障害者更生会	142人	**(工夫した点)** 特に視覚障害者が参加しやすく楽しめる内容とした。一般の方への参加募集はラジオを活用した。当日配布する団扇に更生会のシールを貼るなど、更生会のPRに努めた。 **(効果)** 新規入会や、更生会に関する問い合わせなどもあり、PRすることができた。25年度も大会を開催した。
	大津市民生委員児童委員と障害者団体役員との情報交流会 グループディスカッション 意見交換会	・大津市民生委員児童委員協議会連合会「障害者福祉部会」 ・大津市身体障害者更生会、大津市障害者団体等	129人	**(工夫した点)** 災害時の情報提供が適切に行われるよう民生委員との日常からの連携を密にできるような内容とした。参加者には、地域の障害者団体の機関紙などを配布し情報提供に努めた。また、アンケートをとり、事業への感想などを集めるよう工夫した。 **(効果)** 当日の資料(障害者団体の概要紹介)は、日常の障害者の相談時に大変役立つと好評だった。更生会への問い合わせもあり、団体のPRにも効果があった。
	難聴者のための手話講座 手話講座(12回)	滋賀県中途失聴難聴者協会	延173人	**(工夫した点)** 中途失聴者のコミュニケーション力を高めるため手話講座とし、特に青壮年層が興味のある内容とした。健聴者の参加も可能とした。 **(効果)** 既会員の団体での活動が活発化し、青壮年層の新規会員の加入もあった。
25	身体障害者からみた防災対策事業 講演「被災者の体験談と防災について」 家具転倒防止器具の設置	湖南市身体障害者更生会	33人	**(工夫した点)** 障害者ならではの防災についての講演とし、会員以外の参加にはチラシを活用した。家具転倒防止器具を設置するボランティアを募り、更生会の活動への協力をお願いできるよう努めた。 **(効果)** 会員以外の広報がうまくできず、参加は会員だけとなったため、効果が上がらなかった。

12月5日(金)、厚生労働省で行われた障害者自立更生等厚生労働大臣表彰式典で、当協会の会長である中村裕次氏(彦根市)が、長年にわたる活動を認められ、身体障害者更生援護功労者に対する厚生労働大臣賞を受賞されました。ご報告させていただきますとともに心からお祝い申し上げます。

「東日本大震災」義援金について

この義援金については、昨年度まで上部団体である(社福)日本身体障害者団体連合会(日身連)へ送金していましたが、平成26年3月31日をもって対策本部の解散および義援金の募集締切となりました。このため、県身協第106号でお知らせした義援金は、福島県身体障がい者福祉協会へ送金させていただきました。

ご協力いただいた皆様にお礼申し上げますとともに、ご報告させていただきます。

JRジパング倶楽部入会について

1 会員の特典

◆JRの鉄道・航路を片道、往復または連続で201㎞以上利用する場合に使えます。身体障害者手帳により購入できる普通乗車券以外の一定の特急券・急行券・グリーン券・座席指定券が割引購入できます。

2 入会資格

◆身体障害者手帳の交付を受けている方で、男性は満60歳以上、女性満55歳以上の方が対象となります。(介護者の割引については、第一種身体障害者の介護者のみ同様の割引が受けられます。)

3 年会費

◆お一人様**1,350円**です。(入会金はいりません。)

4 入会手続き

◆詳細およびお申し込みにつきましては、当協会までご連絡ください。

(公財)滋賀県身体障害者福祉協会
TEL：077－565－4832
FAX：077－564－7641

事務局日誌

平成26年10月～12月

月　日	会議・行事内容
10月 1日(水)	第2回滋賀県障害者社会参加推進協議会
10月 3日(金)	県監査委員事務局　予備監査
10月 7日(火)	第3回滋賀県身体障害者福祉大会実行委員会
10月16日(木)	知事・関係部局要望活動(滋賀県立障害者福祉センター老朽化対応)
10月18日(土)	第6回三役会
10月21日(火)	第34回日身連近畿ブロック福祉大会
	第16回日身連近畿ブロック身体障害者相談員研修会
10月25日(土)	第64回滋賀県身体障害者福祉大会
10月28日(火)	議会要望活動(福祉大会決議)
10月30日(木)	第4回理事会
11月 6日(木)	地域でつながるスポーツの輪推進事業第4回実行委員会
11月 9日(日)	障害者週間啓発活動
11月11日(火)	議会要望活動(福祉大会決議)
11月18日(火)	県監査委員　本監査
11月19日(水)	第25回記念夏まつり第1回企画検討部会
11月23日(日)	障害者週間啓発活動
11月24日(月)	地域でつながるスポーツフェスタ2014(長浜市民体育館)
11月26日(水)	第65回滋賀県身体障害者福祉大会打ち合わせ
11月28日(金)	障害者週間啓発活動
11月29日(土)	障害者週間啓発活動
11月30日(日)	障害者週間啓発活動
12月 1日(月)	障害者週間啓発活動
12月 2日(火)	障害者週間啓発活動
12月 6日(土)	第4回青壮年部役員会
12月10日(水)	関係部局要望活動(福祉大会決議)
12月14日(日)	青壮年部地域交流会(長浜)
12月16日(火)	第4回滋賀県身体障害者福祉大会実行委員会
12月17日(水)	地域でつながるスポーツの輪推進事業第5回実行委員会
12月19日(金)	第2回組織活性化部会
	第2回組織活性化審査会
12月22日(月)	知事・関係部局要望活動(福祉大会決議)

躍進する技術……信頼される技術
電気設備工事
特定建設業　山中電工株式会社
〒520－0837　大津市中庄一丁目17－39
TEL (077) 522－8038
FAX (077) 522－8099

Welcab トヨタレンタカーの福祉車両

TOYOTA トヨタレンタリース滋賀
フリーダイヤル 0120-101-345
http://www.trl-shiga.jp

nakaspo
(株)中山スポーツ

〒520-0863
滋賀県大津市千町1丁目25－25
電話077－534－2525
FAX077－533－2338
http://www.nakaspo.com

障害者福祉センターコーナー

事業の報告と案内

障害のある人もない人も!!地域でつながるスポーツフェスタ2014 ～はじめよう　たのしもう　つながろう～

11月24日(月・振休)長浜市民体育館において、「地域でつながるスポーツフェスタ2014 ～はじめよう　たのしもう　つながろう～」を開催しました。この催しは、障がいのある人もない人もスポーツを通じて、相互の交流を深める契機とするとともに、より多くの障がい者が身近でスポーツに取り組める環境づくりを進め、障がい者スポーツの裾野を広げることを目的として開催し、今年で2回目となりました。会場には約300人の方々にご参加いただき、シッティングバレーボールや、バドミントン等、全15種目のスポーツを体験し、楽しんでいただきました。

また、湖国のパラリンピック出場選手とふれあえる場として、10月に開催された仁川アジアパラリンピック競技大会にシッティングバレーボールで出場された田中浩二さんと、バドミントンで出場された江上陽子さんによるデモンストレーションおよび体験指導をしていただきました。午後には、三日月知事もお越しになり、多くの種目を体験していただき、会場は大いに盛り上がりました。

参加された方々からは、次のような感想をいただきました。秋晴れの一日、スポーツの楽しさを感じてもらうとともに、交流を図ることができた意義のあるスポーツフェスタとなりました。

参加者の主な声

- 障がいのある人にも楽しめるよう、工夫されたスポーツを初めて体験しましたが、とても楽しかったです。子どもと夢中になっていい汗をかきました。次回も是非参加したいです。
- 色々な種目に参加できてよかった。スタッフの方も皆さん親切で子どものペースにあわせてくださり助かりました。
- 運動が苦手ですが、今日はとても楽しかったです。もっと早く来てたくさんやりたかったです。
- 家族揃っての参加者が多く、本当のふれあいの意味があり大変ほほえましく感じました。
- 誰もが楽しめて、途中から入っても大丈夫、どの年齢も関係なく楽しめるところがいいなと感じました。

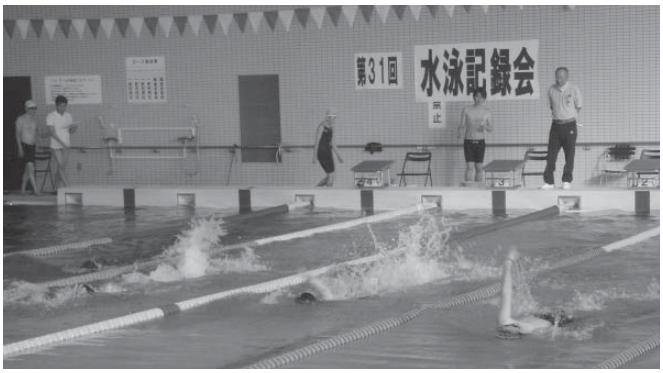
自己記録に挑戦！第31回 水泳記録会

11月16日(日)に当福祉センタープールにて、第31回水泳記録会を開催しました。

第1部では28人の参加者が25m完泳を目指し、仲間と共に頑張って泳ぐ姿に、周囲からは自然と声援が沸き起こりました。また、水中レクリエーションでは、滑り台を滑ったり、大小様々な浮島の上を走ったり、プールの中で風船バレー競技を行うなど、普段のプールではできないことを体験し、楽しく体を動かしながら大いに盛り上りました。

第2部では、各競技種目のタイムを測定する記録会を行いました。障害の有無を問わず、7歳から80歳までの幅広い年齢層で、73人の参加者が日頃の練習の成果を発揮しました。初めての種目である全員リレーでは、競技終了後、参加者全員が力を合わせ次の泳者へ繋ぎタイムを競うことで新しい交流が生まれていました。また、仁川アジアパラリンピックのメダリストの木村敬一選手(東京ガス)に参加していただき、大会報告や獲得されたメダルを見せていただき、参加者にとっては大きな刺激や励みとなりました。

障害の有無を問わず、参加者全員が水泳を楽しめた一日となりました。



障害者週間 感謝のつどい

障害者週間 感謝のつどい 【体験・展示】

11月30日(日)に、「障害者週間 感謝のつどい」を開催しました。

近隣施設と当福祉センター文化教室に参加・活動した受講者の作品展示では、多くの参加者が興味深く見入っておられ、障害者福祉についての関心と理解を深めるひとつのきっかけになりました。

ステージでは、小津ドラえもん劇団による「大きなかぶ」公演、玉川ウインドオーケストラの「金管楽器アンサンブル」、ケチャップマヨネーズ？の「大きな絵があるファミリーコンサート」と、観客参加型の内容を楽しんでいただけました。

障害者週間 感謝のつどい 【交流会・防災】

12月4日(木)に、「障害者週間 感謝のつどい」として交流会と防災訓練を開催しました。当初は、屋外で清掃活動をする予定でしたが、雨天のため、当福祉センターアリーナで交流会としてふうせんバレーボールを行いました。近隣施設から、多くの方に参加いただき新たな交流が生まれていました。

また、防災訓練では、湖南消防署の指導のもと消火器の使い方、避難訓練、煙中体験を行いました。その後、地震火災についてのDVDを鑑賞し、訓練をした内容を再確認することで、日々の防災に対する意識を更に高めていただくことができました。

グラウンドゴルフ大会　初開催!!

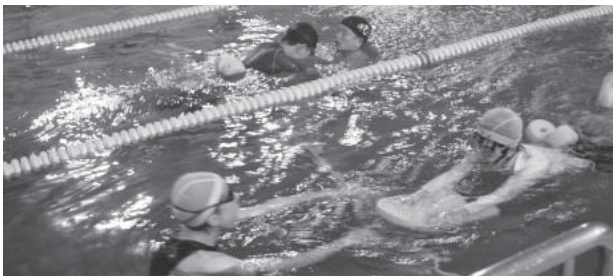
11月9日(日)、グラウンドゴルフ大会を初めて開催しました。屋外実施の予定でしたが、雨天のため、当福祉センターアリーナでの開催となりました。初代チャンピオンを目指し参加者32人の熱戦が繰り広げられました。優勝は、同スコアが2人おられたためプレーオフ決戦となり、息をのむような接戦の結果、優勝者が決定しました。優勝トロフィーは、館内に展示し、今後も大会優勝者の名前が刻まれていきます。

なお、グラウンドゴルフ定例会も、月1回(毎月第2金曜日)開催していますので、こちらにもぜひご参加ください。

◆ 水泳教室

9月7日(日)から10月26日(日)まで全6回の日程で水泳教室を開催しました。泳力別に初級・中級①・中級②・上級の4クラスに分かれて実施しました。

和気あいあいとした楽しい雰囲気の中で、受講者は各クラスごとに目標を掲げ、その目標に向かって一生懸命に練習を重ねていました。毎回着実に積み上げられ、個々の成長を感じることができる教室となりました。



◆ 体力測定・トレーニングアドバイス

10月29日(水)に体力測定・トレーニングアドバイスを開催しました。日頃のトレーニングの成果と、現在の体力を知ろうと、25人の参加がありました。

当日は、13項目の測定を行い、その結果をもとに理学療法士からアドバイスをしていただきました。参加者からは「日々の運動の大切さがわかった」「自分を見つめ直す良い機会となった」等の意見をいただき、運動に対する意識が更に向上しました。

第14回全国障害者スポーツ大会「長崎がんばらんば大会2014」

11月1日(土)から11月3日(月・祝)まで第14回全国障害者スポーツ大会「長崎がんばらんば大会2014」が長崎県で開催されました。滋賀県からは、66人(当福祉センターの指導員も役員として参加)の選手団が出場し、メダル36個と自己新記録14個という素晴らしい成績を収めることができました。出場選手のうち約4割が当福祉センターを拠点としてトレーニングをされており、今後も大会に向け当福祉センターとして全力で応援していきたいと思います。

◆ スポーツ吹矢大会を開催します!!

スポーツ吹矢大会を開催します！
日頃の成果をスポーツ吹矢大会で発揮してみませんか。
ぜひご参加ください!!

日　　時：平成27年3月22日(日) 13:00 ～ 15:30
場　　所：当福祉センター　アリーナ
対 象 者：身体障害者、精神障害者、障害のない人
　　(スポーツ吹矢を体験したことがある人)
定　　員：先着40人(障害のない人は最大15人まで)
費　　用：無料
受付時間：平成27年1月20日(火) ～ 3月1日(日)

◆ トレーニング個別アドバイスのご案内

それぞれのレベルに合わせたトレーニング方法等やご質問、お悩みに指導員(トレーニング指導士有資格者)がマンツーマンで対応します！

日　　時：火曜日　14時15分～ 15時00分

1月	20日・27日
2月	3日・17日・24日
3月	3日・17日

場　　所：当福祉センター　トレーニング室
対 象 者：中学生以上の障害のある人
定　　員：毎回1人
費　　用：無料
受付時間：受講希望日の2週間前から2日前まで予約可能です。

平成27年度 年間日程調整会議

日　時 ： 平成27年2月15日(日)　10:00 ～
場　所 ： 当福祉センター　会議室

※原則として会議前日までに日程が決定されている大規模な大会、行事等で有効的な施設利用の調整を目的に開催します。

＜会議への参加対象団体＞

1. 障害者(児)または、その保護者等で組織する団体(組織)
2. 当福祉センター登録クラブおよび障害者で組織するスポーツ同好会
3. 障害者(児)施設、特別支援学校(特別支援学級を含む)
4. 障害者(児)に関わる行政、医療機関、団体等
5. その他、当福祉センター所長が特に必要と認めたもの

※会議によって対象を制限するものもあります。

＜調整の対象となる内容および優先順位＞

1. 県が主催、共催または主管する障害者を対象とした大会等の事業
2. 全国規模でかつ県内の障害者団体が主催、共催または主管する大会等の事業
3. 近畿規模でかつ県内の障害者団体が主催、共催または主管する大会等の事業
4. 県内の各障害者団体が主催、共催する年1回程度の大規模事業で、多数の参加が見込まれるもの(アーチェリーや会議室を全面必要とする大会、研修等)
5. 県が主催、共催または主管する健常者も対象として開催する研修会等
6. その他、当福祉センターの所長が特に必要と認めたもの

※上記に該当しない場合には、利用申請はできないものとします。

琵琶湖一周・日本縦断に挑戦　授与式

『琵琶湖一周に挑戦！』『日本縦断に挑戦！』それぞれの挑戦を達成された方々の授与式を行います。

日　　時： 平成27年2月8日(日) 13:00 ～
場　　所： 当福祉センター　会議室
対 象 者： ①平成26年1月4日(土) ～ 12月28日(日)の期間に琵琶湖一周・日本縦断を達成された挑戦者
②上記の期間に50回以上挑戦された挑戦者

平成27年1月4日(日)からは、新たな挑戦が始まります！挑戦希望者は、当福祉センター職員までお申し出ください！皆様の挑戦をお待ちしています！

◆ 将棋と囲碁のつどい～プロ棋士(将棋)対局指導～

ぜひ、この機会にプロ棋士との対局指導で棋力の向上を目指しませんか？多くの方の応募をお待ちしております。

日　　時： 平成27年3月22日(日) 13:00 ～ 16:00
場　　所： 当福祉センター　会議室
対 象 者： 障害のある人、障害のない人
定　　員： 先着18人(うち障害のない人は先着6人まで)
費　　用： 無料
内　　容： 将棋のプロ棋士を迎えての対局指導
プロ棋士南芳一(九段)の多面指しによる対局指導
(対局は1人最長45分。その後、個別に講評。対局時間は当日抽選)
受付時間： 平成27年2月14日(土)
～ 3月15日(日)

プロ棋士
南　芳一(九段)

インフルエンザ予防～看護師からのコラム～

今年もインフルエンザが流行し始めています。インフルエンザを予防するために、手洗い・うがい・換気を毎日心がけ、十分に睡眠・栄養を摂り規則正しい生活を心がけましょう。当福祉センターには玄関入口にアルコール消毒液を設置していますので、ご利用ください。また、運動をして体力をつけることも免疫力を高めるためには効果的です。ぜひセンターを利用して体力をつけましょう。

もし、突然の発熱・頭痛・筋肉や関節の痛みが出たら要注意！早めに医療機関を受診するようにしてください。

これからが冬本番で寒い日が続きます。年の始めに健康目標を考えて、健康で笑顔たくさんの一年を送れるようにしましょう！

皆様のご利用を職員一同心よりお待ちしております。

クイズコーナー

ご応募頂いた個人情報については、個人情報保護関係法令を遵守し、クイズコーナーの事務にのみ使用し、それ以外の目的には使用いたしません。

次の①～⑤のヒントを参考にして□の中の故事・ことわざをうめてください。
最後に(A) ～(E)の文字を順番に並べたものが答えとなります。

□□ ヒント □□

①釣り上げたと喜んだとたんに逃げられた魚は、実際よりも大きく見えるということから、今一息で手に入れかけて失った物が一段と惜しく思われることのたとえ。

②元手の金も利息も失うという意味から、何もかもなくしてしまうこと。

③激しく争うこと。激しく競いあうこと。

④人からただで物をもらうと、お返しの出費がかさんだり、無理な頼みも聞く羽目になったりして、結局は高くついてしまうということ。

⑤一大事が起きた場合をいう言葉。鎌倉に幕府があった時代、大事が起きれば全国の武士が我先に馳せ参じたというところから使われた。

①	に	が			さ		な		(A)		き	
②	も	(B)		こ		う	し					
③	(C)	の	ぎ			ず						
④	た	(D)	よ		た			も	の			い
⑤	い			(E)	く	ら						

《応募方法》

ハガキに住所、氏名、電話番号、クイズの答え、広報誌に対するご感想等をご記入の上、下記までご応募ください。正解者の中から、3人の方に、記念品をお送りします。なお、応募の締め切りは、2月末日までの消印のあるものを有効とさせていただきます。

〒525-0072　草津市笠山八丁目５番 130 号
（公財）滋賀県身体障害者福祉協会　県身協クイズの係　まで

＊前回のクイズの当選者（応募総数 :23 通）
- 小林良夫 様（湖南市）
- 角川和子 様（長浜市）
- 渡辺友三 様（彦根市）

＊前回のクイズの答え　→　いわしぐも
①灯台もと暗し(とうだ**い**もとくらし)
②石橋をたたいて渡る(いしばしをたたいて**わ**たる)
③初心忘るべからず(しょ**し**んわするべからず)
④青を脱ぐ(かぶとを**ぬ**ぐ)
⑤塵も積もれば山となる(ちり**も**つもればやまとなる)

読者からの声！

●95歳で地区の役をしています。何時も県身協の広報を見て、皆さんの御力を心から御礼申しています。皆さんに支えられて幸せです。(甲賀市･男性)

●何もできないので広報が届くのが楽しみです。身体が動かないところがあっても自分にできる運動をされているのがすごいなぁと思っています。私は毎朝のラジオ体操が精一杯です。(日野町･女性)

●各地で福祉大会が開催されますし、12月は障害者週間と行事が盛り沢山あり、頑張って参加したいと思います。(近江八幡市･男性)

●家に引きこもりがちですが、色んなイベントを開催されている事を知り、参加したいな･･･と思いました。そして、「障害者」と感じることのないような世の中になればいいなと願っています。(長浜市･女性)

●今月号(106号)は、見出しの白抜き文字が多すぎて読む感覚が悪かった。(東近江市･男性)

次号(第108号、3月10日発行)に伴う**原稿締切日は2月8日(日)**とさせていただきますので、よろしくお願いします。

毎週金曜日はノーマイカーデーです！
ワンコインエコパス(※)を使って週に一度はエコ通勤を!
※毎週金曜日に1乗車100円で「バス:県内全域/鉄道:近江鉄道全域」が利用できる証明書です。詳しくは滋賀県交通政策課ホームページをご覧ください。
びわこ京阪奈線(仮称)鉄道建設期成同盟会･琵琶湖横断エコ交通推進協議会

編集後記

新年あけましておめでとうございます。今年もよろしくお願いいたします。

「滋賀県身協」(第107号)ができあがりましたのでお届けします。

秋から12月にかけて、協会では滋賀県身体障害者福祉大会、障害者週間啓発･推進事業、要望活動、センターでは水泳記録会、地域でつながるスポーツの輪推進事業、感謝のつどい、と大きな行事が続きました。無事終了できましたのも、地域や団体の皆様のご協力があってこそと心より感謝申し上げます。

昨年は、御嶽山の噴火、台風による大規模な土砂災害など、改めて自然の恐ろしさを感じることの多い年でした。今年こそは、穏やかで過ごしやすい、そして明るい話題の多い年であってほしいと節に願っています。

さて、国においては、「障害者の権利に関する条約」が批准され、本県においては、「新･障害者福祉しがプラン」のもと共生社会の実現に向けて取り組みが進められています。障害のある人もない人も全ての人々が住み慣れた地域で安心して暮らせる社会の実現に向けて、私たちの声をこれからも届けていきましょう。

最後になりましたが、今年も幸多い年でありますようお祈り申し上げますとともに、寒さ厳しき折、お身体にはどうぞお気をつけてお過ごしください。

(編集子)

編集発行　公益財団法人滋賀県身体障害者福祉協会　会長　中村　裕次　　滋賀県立障害者福祉センター　所長　山脇　治
〒525-0072　草津市笠山八丁目5番130号　電話:077-565-4832　FAX:077-564-7641
E-mail:info@kenshinkyo-shiga.com　http://www.kenshinkyo-shiga.com

印刷:社会福祉法人 いしづみ会　指定障害者サービス事業所 いしづみ